KOIZUMI

ポータブルCDプレーヤー

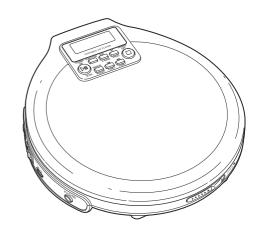
SAD-3904 ■ SAD-3904



取扱説明書(保証書付)

このたびはコイズミポータブルCDプレーヤーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。商品を安全に正しくご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

なお、この取扱説明書には保証書が付いています。お読みになった後も、お使いになる方がいつでも見られるところに大切に保管してください。



目 次

安全上のご注意 ・・・・・・・・・ 1~3
で使用になる前に ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
CD(2017
結露について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
各部のなまえ ・・・・・・ 5~6
モードの切り替えかた ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
ホールド機能(誤動作を防止する) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
準備する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7~8
電源を用意する ・・・・・・・・・・ 7~8
イヤホンを接続する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
CDを聴く ·····9~12
ディスプレイの表示について ・・・・・・10
アンチショック機能(音飛びを防止する) ・・・・・・ 1 (
プログラム演奏 ・・・・・・・・・・・・ 1 1
リピート演奏/ランダム演奏 ・・・・・・・・・ 12
レジューム機能(停止したところから聴く) ・・・・・・ 12

FMラジオを聴く ······13~14
プリセット機能(放送局を記憶させて聴く) ・・・・・・ 14
Bluetooth®機器で音声を聴く ·····15
Bluetooth®について・・・・・・・15
重低音機能を使う ・・・・・・・・16
お手入れのしかた ・・・・・・・17
本体のお手入れ
レンズのお手入れ ・・・・・・・17
仕様 ・・・・・・・・・・18
別売部品について ・・・・・・・18
故障かな?と思われたときは ・・・・・・19~20
アフターサービスについて ・・・・・・21
お客様の個人情報のお取り扱いについて・・・・・・21
保証・無料修理規定 · · · · · · 22
保証書・・・・・・・・23
お客様相談窓口・・・・・・ 23

安全上のご注意

- *ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- *ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人への 危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫 の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」 の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷を負う可能 性があるもの



誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負ったり、 物的損害の可能性があるもの

絵表示例と絵表示の意味



○ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

▲警告

煙や異臭、異音が出たり、落下や破損したとき は本体の電源を切り、乾電池・USB ACアダプ ター(市販または別売)を抜く USBケーブル (市販)を使用している場合は、マイクロUSB 端子から取り外す

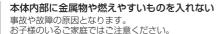


そのまま使用すると、事故の原因となります。 必ず使用を中止し、販売店に修理をご依頼ください。



本体内部に異物や水などが入った場合は、本体の 電源を切り、乾電池・USB ACアダプター(市販 または別売)を抜く USBケーブル(市販)を 使用している場合は、マイクロUSB端子から取 り外す

そのまま使用すると、事故の原因となります。 必ず使用を中止し、販売店に修理をご依頼ください。





USB ACアダプター(市販または別売)が破損 したら使用しない

火災・感電の原因となります。



風呂場では使用しない

火災·感電の原因となります。

マイクロUSB端子をショートさせない マイク ロUSB端子に金属片や鉛筆の芯などの導電性異 物を入れたり接触させない

火災・故障の原因となります。



マイクロUSB端子の差込みがゆるいときは使用 しない

感電・ショート・発火の原因となります。

出力電圧がDC5.0V以外の機器につながない 火災・感電の原因となります。



雷が鳴ったら、機器の金属部やUSB ACアダプ ター(市販または別売)に触れない また屋外 で使用しない

落雷や誘電雷により感電・やけど・機器の焼損の原因と なります。

使用しているときはすぐに機器から離れてください。



濡れた手でUSB ACアダプター(市販または別 売)を抜き差ししない

感電の原因となることがあります。



改造はしない 修理技術者以外の人は分解した り修理をしない



事故やケガの原因となりま す。修理はお買い上げの販売 店または小泉成器株式会社 「修理センター」にご相談く ださい。



USB ACアダプター(市販または別売)は清潔 にする 刃および刃の取付面・マイクロUSB端 子にほこりが付着している場合は拭き取る ショート・火災の原因となります。

A 注意

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所 に置かない

落ちたり、倒れたりしてケガの原因となることがあり ます。

油煙や湯気が当たるような場所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない

本体の変形・変質・火災・故障の原因となることがあります。 異常に温度が高くなる場所、直射日光の当たる高温の場所(自動車内など)には置かないでください。



湿気やほこりの多い場所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。

レーザー光線をのぞき込まない(CD部)

レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあ ります。

指定以外の乾電池を使用しない 新しい乾電池 と古い乾電池、種類の違う乾電池を混ぜて使用 しない

乾電池の破裂・液もれにより、火災・ケガや周囲を汚 損する原因となることがあります。

乾電池は加熱したり、分解したり、火や水の中に 入れない

乾電池の破損・液もれにより、火災・ケガの原因となることがあります。

パソコンなどのUSB端子で、外付けハードディス クなど消費電力の大きい機器と同時に使用しない

パソコンなどに障害を与え、データ消失や故障の原因となる恐れがあります。

パソコンなどの機器と接続した状態で、強い振動 や衝撃を与えない

接続したパソコンなどに障害を与え、データ消失や故 障の原因となります。

0

長時間使用しないときは、乾電池・USB ACアダプター(市販または別売)を抜く USBケーブル(市販)を使用している場合は、マイクロUSB端子から取り外す

乾電池が液もれしたり、USB ACアダプター(市販または別売)が傷ついて、火災・ケガ・汚損の原因となることがあります。

乾電池のプラス・マイナスは正しく入れる

乾電池の発熱・破裂、液もれにより、火災、ケガや周 囲を汚損する原因となることがあります。



乾電池は幼児の手の届かないところに保管する

万一飲み込んだ場合にはただちに医師にご相談ください。

はじめから音量を上げすぎない

突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となること があります。



お手入れの際は安全のため乾電池・USB ACアダプター(市販または別売)を抜く USBケーブル(市販)を使用している場合は、マイクロUSB端子から取り外す

感電の原因となることがあります。



幼児がCD挿入口に、手を入れないように注意 する

ケガの原因となることがあります。

▲ 付属のイヤホンの取り扱いについて

下記について、必ずお守りください。

断線し、ショート・発火・けがの原因となります。

- ●常にコードはゆとりをもった状態で使用する。
- コードに屈曲を起こさない・引っ張られた状態で使用しない。
- ●コードによじれをおこさない。
- ●本体にコードを巻きつけ、収納しない。
- ●コードやプラグが破損したら使用しない。
- ●プラグにほこりが付着している場合は拭き取る。
- ●水につけたり、ぬれた手で使用しない。
- ●使用時はイヤーピースが取り付けられていることを確認 する。
- ●イヤーピースを外して幼児の手の届くところに置かない。

ご使用になる前に

ご注意

- ●次のような場所では使用・保管しないでください。
 - 直射日光を浴びる場所や暖房器具のそば。
 - ちりやほこりなどの多い場所。
 - 風呂場など湿気の多い場所。テレビやチューナーなどのそば。
 - ・ 雑音や画像の乱れが起こる場合があります。できるだけ離すか、同時使用を避けてください。
- ●温度が低い環境で操作されますと、まれにCDドアの開閉動作が遅くスムーズでない場合があります。 その場合は、あたたかい場所に移動し、しばらくしてから使用してください。
- ●キャッシュカードや定期券などの磁気カード類、録音テープ、時計などを近づけないでください。
- ●レンズにほこりがつかないように、使用しないときは、CDドアを閉めておいてください。またレンズにはさわらないようにしてください。
- ●本体の分解・改造は絶対にしないでください。

CDについて

CDの種類

- 回じるマークの入ったディスクをご使用ください。
- CD-R/RWの場合は、CD-DA (Compact Disc Digital Audio)フォーマットで記憶されたディスク(ファイナライズ されたもの*)を再生することができます。ただし、ディスクおよび記録に使用したレコーダーの状態によっては再生できない場合があります。
 - ※音楽用CD-R/RW再生対応機器で再生できるように処理すること。
- ●コピーコントロールCDやCD規格外の特殊形状ディスクを使用される場合、再生・音質の保証はしかねます。

(CDの取り扱い)

記録面

※記録面に触れないように、CDの端を持ってください。



※CDに指紋や汚れが付いたときは、 やわらかい布などで、中心から端 へと拭き取ってください。



※記録面やラベル面に、紙やテープなどを貼らないでください。またラベルがはがれたCDは使用しないでください。

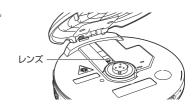


ご注意

円形以外(ハート型など特殊形状)のディスク、ひびやそりのあるディスクは絶対に使用しないでください。

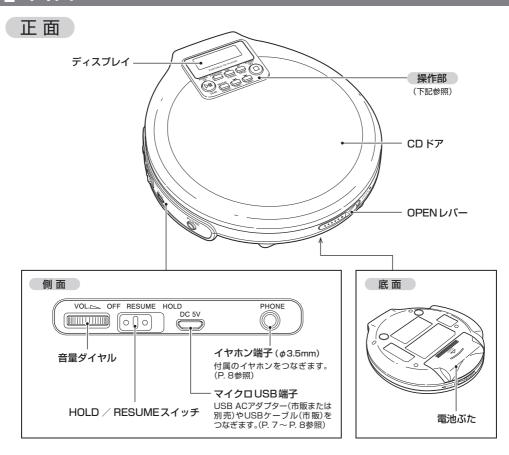
結露について

周辺の温度が急激に変化した場合、レンズが結露することがあります。 レンズに水滴がついた状態では正しく演奏できません。 このような場合、電源を入れ、CDドアを開けたまま約1~2時間たってから使用を開始してください。

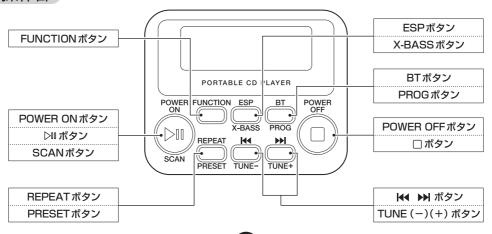


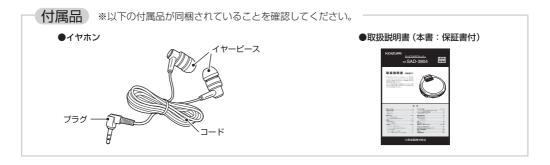
- ・地震・雷・風水害などの天災、および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関しては、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書(本書)の記載内容を守らないことにより生じた損害に関しては、当社は一切責任を負いません。

各部のなまえ



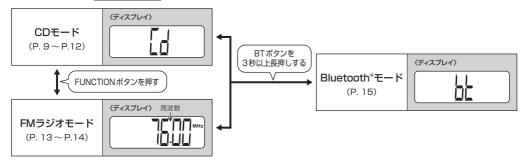
操作部





モードの切り替えかた

- ●電源を入れた状態でFUNCTIONボタンを押すたびに、CDモードとFMラジオモードが切り替わります。 CDモードに切り替えるとディスプレイに「【山と表示された後、自動的にCDの読み込みが始まり、FMラジオモードに切り 替えると周波数が表示されます。
- ●CDモード時またはFMラジオモード時にBTボタンを3秒以上長押しすると、Bluetooth®モードに切り替わります。 再度BTボタンを3秒以上長押しすると、切り替える前のモードに戻ります。

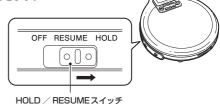


ホールド機能 (誤動作を防止する)

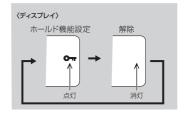
誤って操作ボタンが押されても動作しないように設定することができます。

HOLD / RESUMEスイッチを[HOLD] に合わせる。

- ※[HOLD] に合わせても音量ダイヤル、OPENレバー は操作できます。
- ※電源を切った状態で [HOLD] に合わせている場合、 POWER ONボタンで電源を入れることはできます。







電源を用意する

乾電池で使う場合

※乾電池で使用するときは、本体からUSB ACアダプター(市販または別売)・USBケーブル(市販)を取り外してください。

電池ぶたを開ける。



②開ける ※電池ぶたは取り外せません。

2. 単3形アルカリ乾電池2本(別売)を 下図のように入れ、電池ぶたを閉める。

リボンの上から入れてください。



ご注意

乾電池の破損・液もれ防止のために次のことはお守りください。

- 長時間使用しないときは、乾電池を取り出しておいてください。
 長時間未使用の場合、液もれを起こすことがあります。
- 使い切った乾電池はすぐに取り出し、分別廃棄してください。種類の違う乾電池、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用し
- 種類の違う乾電池、新しい乾電池と古い乾電池を混せて使用しないでください。
- ⊕プラスと⊖マイナスは正しく入れてください。
- 火の中への投入や、ショート、分解、加熱などはしないでください。

乾電池の交換目安

乾電池が消耗してくると、ディスプレイに

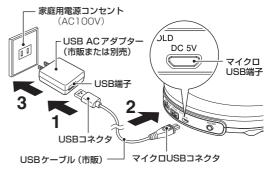
■マークが点灯します。またCDが正常
に動作しない、音が小さくなる、雑音が多くなるなどの現象が生じます。(乾電池
の消耗具合によっては、FMラジオが聴けてもCDは動作しない場合があります。)



アと ひららは動作 ひない場合があります。) このようなときは、新しい乾電池と交換してください。 ※乾電池を取り出すときは、リボンを引っ張ってください。

家庭用電源で使う場合

- ※あらかじめ市販または別売のUSB ACアダプターをご用意ください。 当社別売部品のUSB ACアダプターについては、P. 18を参照してください。 USB ACアダプターは5.0V 1.0Aのものをご使用ください。
- USBケーブル (市販) のUSBコネクタを USB ACアダプター (市販または別売) のUSB端子へ差し込む。
- 2. USBケーブル (市販) のマイクロUSBコ ネクタを本体のマイクロUSB端子へ差し 込む。
- 3. USB ACアダプター (市販または別売) をコンセントへ差し込む。

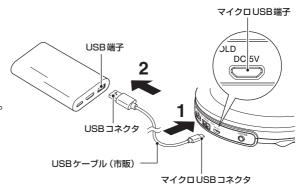


- ※別売のUSB ACアダプターは、SAD-3904専用です。 他の製品には使用しないでください。
- ※使用中、熱くなることがありますが異常ではありません。

電源を用意する

外部機器で使う場合

- ※あらかじめ市販のUSBケーブルをご用意ください。
- USBケーブル (市販) のマイクロ USBコネクタを本体のマイクロ USB端子に差し込む。
- 2. USBケーブル (市販) のUSBコネクタをモバイルバッテリーやパソコンなどのUSB端子に差し込む。
 - ※モバイルバッテリーやパソコンなどの USB端子に接続する場合は、接続するモバイルバッテリーやパソコンの取 扱説明書の記載内容に従って正しく で使用ください。



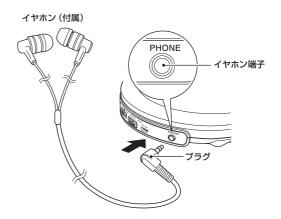
パソコンなどに接続した場合のデータの消失や故障など、本機を使用することによって生じた損害に関して、いかなる場合においても当社は一切責任を負いません。データの復元・損失補償などはいたしませんのでご了承ください。

イヤホンを接続する

ご注意

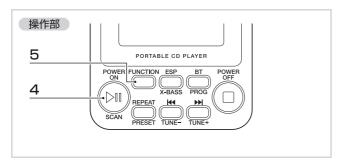
- ●ヘッドホン/イヤホンを本機につなぐときは、本機の音量を下げてください。
- ●耳を刺激するような大きな音量で長時間聴くことは避けてください。

付属のイヤホンのプラグを本体のイヤホン 端子に奥までしっかり差し込みます。



CDを聴く

- 1. 電源を用意し、イヤホンを接続する。(P. 7~ P. 8参照)
- 2. OPENレバーを右にスライドしてCDドアを開け、CDをセットする。
- 3. CDドアを押さえて、しっかり閉じる。



4. POWER ONボタンを押す。

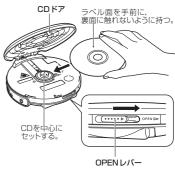
• ディスプレイが点灯します。

5. FUNCTIONボタンを押してCDモードを選ぶ。

FUNCTIONボタンを押すたびに、CDモードとFMラジオモードが切り替わります。

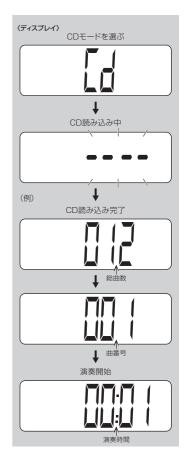


- CDモードを選ぶと、ディスプレイに総曲数と曲番号が表示された後、自動的に演奏が始まります。
- ※CD-R/RWに記録されたCD、コピーガード付きのCDは再生できない場合があります。
- 全曲演奏が終わると、自動的に演奏を停止します。 再度演奏するときは、DIIボタンを押してください。



● 電源を入れた状態でCDドアを開けると ディスプレイに[OPEN]が表示されます。





音量を調節する 音量ダイヤルを回す。

演奏を止める*

□ボタンを押す。

●再度演奏するには▷Ⅲボタンを押す。

▷Ⅲボタンを押す。

演奏に戻るにはもう一度押す。

一時停止する*



(演奏中/一時停止中に)

早送り・早戻しする

【◀◀ ▶】ボタンを押し続ける。

ボタンから指を離すと演奏に戻る。

曲の頭を探す(スキップ)

(演奏中/一時停止中に)

▲ ▶ ボタンを押す。

停止中に

【◀◀ ▶▶】ボタンで聴きたい曲を選んだ後、▷Ⅲボタンを押す。

※一時停止中や演奏停止後、無操作の状態で約1分経過すると、自動的に電源が切れます。

ディスプレイの表示について

ディスプレイに「 III 」が表示される場合、 以下の項目を確認してください。

- CDが正しくセットされていますか?
- CDの裏表を間違えていませんか?
- レンズが汚れていませんか?(P.17参照)
- CDが汚れたり、傷ついていませんか?
- 使用できないCDをセットしていませんか?
 (P. 4参照)

ご注意

- ●本機は、CD-R/RW録音機器で作成した音楽用CD-R/RWディスクの再生も可能です。ただし、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。
- ●CD-R/RWを入れた場合、演奏できる状態になるまで10秒前後かかります。
- ●コピーガード付きのCDは再生できない場合があります。
- ●直接音楽ファイルを記録したCD(MP3ディスクやWMAディスク等)は再生できません。

アンチショック機能 (音飛びを防止する)

本機は、電源を入れたりCDモードに切り替えたとき、自動的にアンチショック機能が働き、振動による演奏の途切れを防止します。

アンチショック機能について

自動的にCDのデータを約60秒先読みすることにより演奏の音飛びを防ぎます。

読み込み中はディスプレイの **国**が点滅し、読み込みが完了すると点 灯します。

※再生直後はアンチショック機能が十分に働かず音飛びすることがあります。 ※強い衝撃や振動が続いた場合、音飛びすることがあります。

※CDの傷や汚れなどが原因の演奏の途切れには効果はありません。

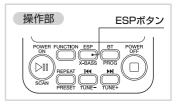
ESPはElectoronic Shock Protectionの略です。

アンチショック機能を 解除する

(CDモード時に)

ESPボタンを3秒以上長押しする。

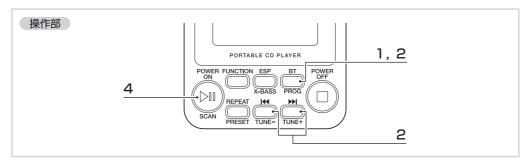
再度設定するにはもう一度、ESPボタンを3秒以上 長押しする。





CDを聴く

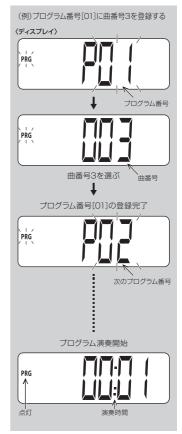
プログラム演奏(お好みの曲を予約順に聴く)



停止中に

- **】** PROGボタンを押す。
- 2. ★ ▶ ボタンでお好みの曲を選び、 PROGボタンを押して登録する。
 - 次のプログラム番号が点滅します。

- 3. 上記2の操作を繰り返し予約していく。
 - 最大20曲までお好みの曲を予約順に聴くことができます。
- 4. ▷Ⅲボタンを押す。
 - プログラム演奏が始まります。
 - プログラム演奏中は "PRG" が点灯します。
 - ※プログラム演奏終了後、プログラムは解除されます。



連続で同じプログラムを 演奏する

プログラム演奏中に 全曲リピート演奏(🚻)に設定する。(P. 12参照)

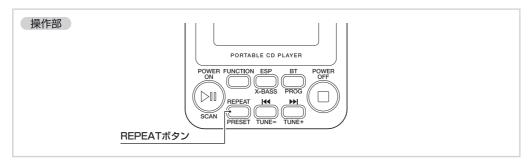
プログラムを解除する

プログラム演奏中に□ボタンを押す。

: CDドアを開ける。



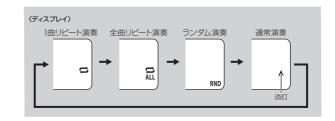
リピート演奏/ランダム演奏



演奏中/一時停止中/停止中に

REPEATボタンを押す。

- 押すごとに設定が変わります。
- 1曲リピート演奏 … お好みの1曲を 繰り返し演奏します。
- ◆全曲リピート演奏…全曲を 繰り返し演奏します。



●ランダム演奏 ……全曲を無作為に繰り返し演奏します。

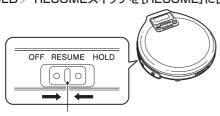
RND <演奏中に設定した場合>演奏中の曲が終了後、ランダム演奏がスタートします。

レジューム機能 (停止したところから聴く)

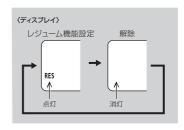
モードを切り替えたり、電源を切ったあと再度電源を入れたときに、停止したところから演奏を聴くことができます。

演奏中/一時停止中/停止中に

HOLD / RESUMEスイッチを[RESUME]に合わせる。



HOLD / RESUMEスイッチ



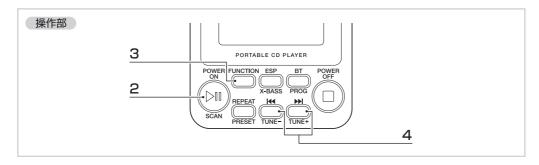
※CDを取り出して再度同じCDをセットした場合もレジューム機能が働きます。(違うCDに変えた場合は解除されます。) ※演奏が再開するとき、数秒の誤差が生じることがあります。

レジューム機能を解除する

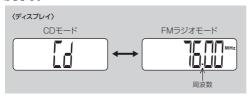
HOLD / RESUMEスイッチを[OFF]に合わせる。



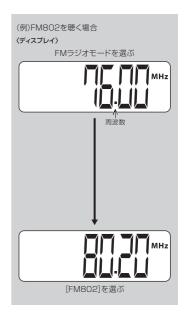
FMラジオを聴く



- **1** 電源を用意し、イヤホン接続する。(P. 7~ P. 8参照)
- **?** POWER ONボタンを押す。
 - ディスプレイが点灯します。
- 3 FUNCTIONボタンを押してFMラジオモードを選ぶ。
 - FUNCTIONボタンを押すたびに、CDモードとFMラジオモードが切り替わります。



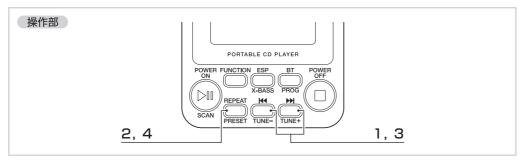
4. TUNE(-)(+)ボタンで聴きたい局を選ぶ。



オートチューニング (受信できる局を) 自動的に探す)	FMラジオモード時に TUNE(-)(+)ボタンを 3秒以上長押し する。
音量を調節する	音量ダイヤルを回す。
ラジオを切る	POWER OFFボタンを 3秒以上長押し する。
雑音が多いとき、	窓ぎわの電波の届きやすいところへ移動する。 (電波が上手く入った時、ディスプレイに「 ST- 」と表示されます。)
	イヤホンのコードをできるだけ長く伸ばす。(イヤホンのコードをアンテナとして利用しています。)

プリセット機能 (放送局を記憶させて聴く)

- ■FM20局まで記憶させることができます。
- ※新しい局を記憶させると、そのプリセット番号に記憶されていた前の局は上書きされます。
- 約5秒以内に操作しないと、元の状態に戻ります。



お好みの放送局を手動で記憶させる

FMラジオモード時に

- **1** TUNE(−)(+)ボタンで聴きたい局を選ぶ。
- **2.** PRESETボタンを**3秒以上長押し**する。
- **3.** TUNE(-)(+)ボタンで記憶させたい プリセット番号を選ぶ。
- 4. PRESETボタンを押して確定させる。

ご注意

確定させないと、記憶されません。 必ずPRESETボタンを押してください。

5. 複数の局を記憶させる場合は、上記1~4の操作を繰り返す。

記憶させた局を聴く

「FMラジオモード時に

PRESETボタンを繰り返し押し、 聴きたいプリセット番号を選ぶ。



受信できる放送局を自動で記憶させる

FMラジオモード時に

SCANボタンを3秒以上長押しする。

● 20局がプリセット番号01 ~ 20に 自動的に記憶されます。



Bluetooth® 機

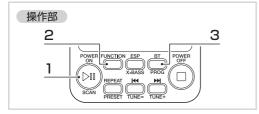
■Bluetooth®対応のスピーカーやヘッドフォン・イヤホン などに接続して、ワイヤレスで聴くことができます。

ご注意

• Bluetooth®で音声を聴くには、Bluetooth®機器が以下に対応して いる必要があります。Bluetooth®機器に付属の取扱説明書などで 確認してください

【Bluetooth®バージョン】 Bluetooth*標準規格Ver.5.0 [Bluetooth®プロファイル] A2DP/AVRCP

※Bluetooth®機器の仕様や設定により、接続できない場合や、操作 方法、表示、動作が異なる場合があります。

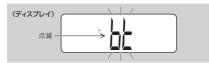


電源を用意し、イヤホンを接続する。 (P. 7~ P. 8参照)

- POWER ONボタンを押す。
 - ディスプレイが点灯します。

BTボタンを3秒以上長押しして Bluetooth®モードを選ぶ。

● 「Ы」が点滅して、接続可能なBluetooth®機器の検索を 開始します。



4 お手持ちのBluetooth®機器側で Bluetooth®接続を「オン」に設定にする。

- Bluetooth®機器の操作方法は、Bluetooth®機器の取 扱説明書などをご確認ください。
- 本機とBluetooth®機器が接続された後、「計」が約10 秒点灯し、消灯します。
- Bluetooth®モードにすると、毎回最後に接続した機器 と自動的に接続します。接続されるまでは「計」が点滅し
- 接続できなかった場合、接続可能なBluetooth®機器の 検索を続けるため、「計」が点滅し続けます。
- ※約1分接続先が見つからない場合「計」が消灯します。 ◆ 本機がBluetooth®機器を接続、解除する時は、電子音 が鳴ります。

5. 本機の演奏をはじめる。

● 他のBluetooth®機器と接続する場合は、最後に接続し たBluetooth®機器のBluetooth®接続を「オフ」に設定 してください。

音量ダイヤルを回す。

音量を調節する

Bluetooth®機器側で 音量を調整する。

本機の登録を解除する。

BTボタンを 3秒以上長押しする。

接続を解除する Bluetooth®機器側で

※Bluetooth®機器の操作は、Bluetooth®機器の取扱説明書 などを確認してください。

Bluetooth®について

● 商標権

Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所要する登録商標であり、小泉成器株式会社は、これら商標 を使用する許可を受けています。他のトレードマーク及び商号 は、各所有権者が所有する財産です。

機器認定

本機は電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、 使用する時に無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の 行為を行うと法律に罰せられることがあります。

- ・本機を分解、改造すること。
- ・本機に貼ってある定格銘版を消す、はがすこと。

• 使用制限

- 日本国内でのみ使用できます。
- ・本機が以下の環境にある場合や建物の構造によって、使用可 能距離(約10m)が短くなったり正常に動作しなかったりす る可能性があります。
 - 電子レンジを使用中の周辺
 - 電波が反射しやすい金属物などの近く
 - その他の2.4GHz帯の電波を使用する機器の近く(ゲーム 機やルーターなど)
- ・誤った取扱いをすると、Bluetooth®機器の内部に保存され ているデータが破損したり消失する可能性があります。必ず 事前にバックアップしてください。 本機を使用したことによるデータの損失または消失について、

いかなる場合においても当社では責任を負いかねます。 データの復元、再インストール、損失補償などはいたしません。

あらかじめご了承ください。

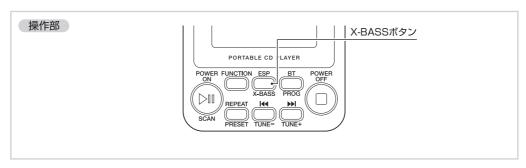
ご注意

本機の使用周波数帯域は2.4GHzです。この周波数帯は電子レンジな どの産業・科学・医療機器のほか、免許を要する無線局**1および免許 を要しない無線局*2が運用されています。

- 1. 本機を使用する前に近くで無線局が運用されていないことを確認 してください。
- 2. 万一、本機から上記の無線局に対して電波干渉が発生した場合 は、速やかに本機の使用場所を変えるか、使用を停止し、電波干渉 を避けてください。
- ※1 丁場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局 やアマチュア無線局など
- ※2 特定小電力無線局など

重低音機能を使う

■低音を強調した音質に調節することができます。



CDモード/FMラジオモード/Bluetooth®モード時に

X-BASSボタンを押す。

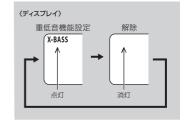
ご注意

音源によっては効果の少ない場合があります。

重低音機能を 解除する

重低音機能設定中に

X-BASSボタンを押す。



お手入れのしかた

※必ず電源を切り、乾電池・USB ACアダプター(市販または別売)を抜いてから行ってください。 USBケーブル(市販)を使用している場合は、マイクロUSB端子から取り外してから行ってください。

本体のお手入れ

乾いた布などで汚れやほこりを拭いてください。

汚れがひどいとき

中性洗剤をうすめて布にふくませ、よく絞ってから汚れを 拭き取ってください。その後、から拭きしてください。

ご注意

ベンジンやアルコール、シンナーなどでは拭かないでください。 本体を傷める原因となります。



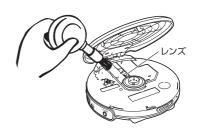
レンズのお手入れ

ごみやほこりがついた場合

レンズを市販のブロアーで2~3回吹き、ブロアー先端の ブラシでごみやほこりをはき出します。最後にもう一度レ ンズをブロアーで吹いてください。

ご注意

レンズには指紋や汚れをつけないようにしてください。



仕様

受信周波数アンテナ	FM:76~108MHz イヤホンアンテナ (イヤホンのコードをアンテナとして使用)	電池持続時間* (アルカリ乾電池使用時) 消費電力	ラジオ受信時:約45時間 CD再生時:約7.5時間 2.3W
出力端子	イヤホン端子(φ3.5mm)×1	最大外形寸法	(111)
実用最大出力	3 mW + 3 mW	質量	約205g
電源	 ・DC3V (単3形アルカリ乾電池×2本(別売)使用) ・AC100V 50/60Hz (USB ACアダプター(市販または別売)使用) ・USB入力5.0V 1.0A (USBケーブル(市販)使用) 	付属品	イヤホン、取扱説明書(本書:保証書付)

[※]電池持続時間は、乾電池の種類や使用状況(音量・Bluetooth®接続状況等)、環境によって異なることがあります。

●Bluetooth®部

バージョン	Ver.5.0	使用周波数帯域	2.4GHz帯 (2.402GHz~2.480GHz)
対応プロファイル	A2DP Ver.1.3, AVRCP Ver.1.6	最大通信距離	見通し距離約10m*

※通信距離は目安です。周囲環境により通信距離が変わる場合があります。

別売部品について

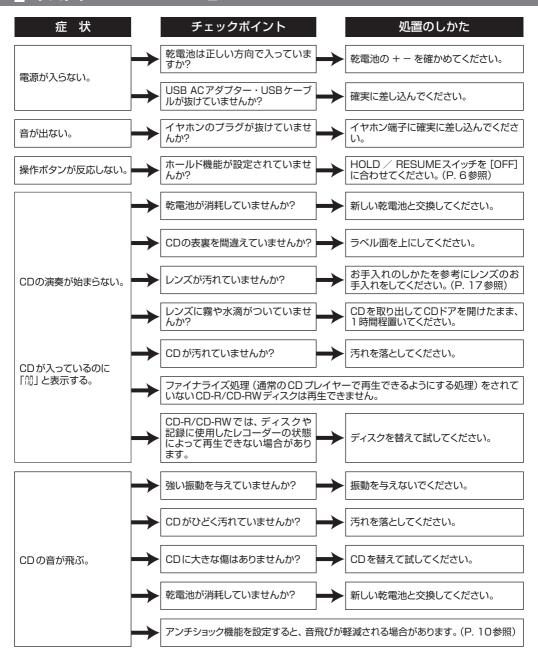
USB ACアダプターは別売部品としてお買い求めいただけます。 別売部品を依頼される場合は、お買い上げの販売店か、小泉成器株式会社「部品センター」にお問い合わせください。

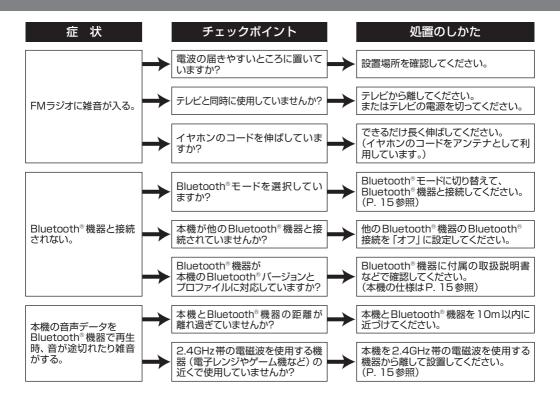
名 称	型番
USB ACアダプター	KTH-9018

※USBケーブルは含まれておりません。

[※]本機の仕様および外観については、改良のため予告なく変更することがあります。

故障かな?と思われたときは





アフターサービスについて

1. 保証書

● この取扱説明書には保証書が付いています。 保証書はお買い上げの販売店で「販売店名・お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

2. 修理を依頼されるとき

● 保証期間中は

商品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。保証の記載内容により無料修理いたします。

● 保証期間が過ぎているときは

お買い上げの販売店にご相談ください。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料 修理いたします。

3. 補修用性能部品の保有期間

● ポータブルCDプレーヤーの補修用性能部品の保有期間は製造打切後6年です。 補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

4. アフターサービスについてご不明の場合

● アフターサービスについてご不明の場合には、お買い上げの販売店か、小泉成器株式会社「修理センター」にお問い合わせください。

愛情点検

★長年ご使用の音響機器の点検を!



で使用の際 このようなことは ありませんか

- ●USB ACアダプター(市販または別売) や本体が異常に熱い
- ●USB ACアダプター(市販または別売) が破損している。
- ●コゲくさい臭いがする。
- ●その他の異常、故障がある



このような症状の時は、故障や事故 防止のため、電源を切り、コンセン トからUSB ACアダプター (市販ま たは別売) を抜いて必ず販売店にご 相談ください。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

お受けしましたお客様の個人情報は当社個人情報保護方針に基づき適切に管理いたします。また、お客様の同意がない限り、業務委託を する場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行ないません。

(利田日的)

お受けしました個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせおよび修理対応のみを目的として使用させていただきます。なお、この目的のために小泉成器株式会社および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

〈業務委託の場合〉 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を実施させるとともに適切な管理・監督をいたします。

保証・無料修理規定

- 1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った**正常な使用状態で保証期間内に故 障**した場合、**「無料修理」**致します。
- 2.保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、**商品と本書をご持参ご提示の上、お買い上げの販売店にご依頼ください。**
- 3. **ご転居、ご贈答品等で**本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、取扱説明書の小泉成器株式会社「修理センター」へご相談ください。
- 4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の落下等による故障および損傷。
 - (八) 火災、地震、落雷、水害、その他の天災地変、異常電圧による故障および損傷。
 - (二) 一般家庭用以外(例えば業務用の長時間使用、車輌、船舶への搭載)に使用された場合の故障および損傷。
 - (木) 本書のご提示がない場合。
 - (へ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えた場合。
- 5. 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料はお客様の負担となります。
- 6. 本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.
- 7. 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- ※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または取扱説明書の小泉成器株式会社「修理センター」にお問い合わせください。
- ※保証期間経過後の修理について詳しくは取扱説明書の「アフターサービスについて」 をご覧ください。

ポータブルCDプレーヤー

保証書「持込修理

本書は、本書記載内容(裏面記載)で無料修理を行うことをお約束するものです。 お買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買 上げの販売店に修理をご依頼ください。

	型番	SAD-3904					
お買	買上げ年月日		年		月	日	
無	無料修理		対象部分		其	別間 (お買上げ日よ	b)
仴	R証期間		本 体			1 年	
おか	お名前						様
お客様	ご住所	₸	見	7	Z		
販売店	店名・信	È所・電話					

★販売店の皆様へのお願い 必ず全項目をご記入、ご捺印の上、お客様にお渡しください。 小泉成器株式会社 本社 〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号 TEL.06(6262)3561

お客様相談窓口

この商品に関するご意見・ご質問については下記へお寄せください。

で意見・ご質問について

お客様相談窓口

ナビダイヤル 0570 (07) 5555

■IP電話などからご利用いただけない場合 〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号 TEL. 06 (6262) 3561 FAX. 06 (6268) 1432

修理に関するお問い合わせ

東日本修理センター ジャビダイヤル 0570 (05) 8888

■IP電話などからご利用いただけない場合 〒344-0127 埼玉県春日部市水角1190 TEL 048 (718) 3340 FAX. 048 (718) 3350

西日本修理センター ジャングイヤル (全国共通番号) 0570 (05) 8888

■IP電話などからご利用いただけない場合 〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号 TEL. 06 (6613) 3145 FAX. 06 (6613) 3196

部品に関するお問い合わせ

部品センター

ナビダイヤル(全国共通番号)

0570 (00) 3211

■IP電話などからご利用いただけない場合 〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号 TEL. 06 (6613) 3211 FAX. 06 (6613) 3299

小泉成器株式会社

〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号 TEL, 06 (6262) 3561 FAX, 06 (6268) 1432

受付時間:平日9:00~17:30 (土・日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く)

2020年7月現在(所在地、電話番号などについては変更が ある場合がありますので、その節はご容赦願います。)

